

普及活動情勢報告（令和 2 年 1 月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

JA高知県香美地区ピーマン部会が農業担い手育成センターで研修



1 月 16 日、JA 高知県香美地区園芸部ピーマン部会が農業担い手育成センターで研修会を開催し、生産者 7 名が参加しました。

農業改良普及課が、担い手育成センターと事前に調整した研修内容であるピーマンの整枝方法について説明を受けた後、意見交換を行いました。生産者からは「側枝をを摘心するときは、強い方の側枝だけ切ったらえいがやね、とても勉強になった」との意見が聞かれました。

農業改良普及課は、これからも生産者の栽培技術等の向上のため、支援していきます。

JA高知県香美地区生姜部会が栽培講習会を開催



12 月 17 日、JA 高知県香美地区生姜部会栽培講習会が、香南市で開催され、生産者 55 名が参加しました。

講習会では、資材メーカーから土づくり資材の紹介や実証試験結果の報告、JA は GAP 点検シートによる点検を実施しました。

農業改良普及課からは、次作に向けての土づくり及び残さの腐熟促進対策等について情報提供を行いました。生産者は、残さの腐熟促進が白星病の発生抑制につながることに興味を示していました。

農業改良普及課は、JA と連携し、生産者の栽培技術向上に向けて支援していきます。

温室みかん部会野市支部現地研修会



1 月 10 日、JA 香美地区温室みかん部会野市支部が現地研修会を開催し、生産者 11 名が参加しました。

農業改良普及課は、今年度を実施した「ミカンハダニ防除に関するアンケート」の集計結果を示しました。殺ダニ剤が「十分に効く」と答えた生産者は半数程度と少なく、薬剤抵抗性の問題が浮き彫りになりました。また、農薬散布量や噴口の種類、気門封鎖剤の使用状況についても生産者間差が判明しました。生産者からは噴口や薬剤選択に関して意見が出され、防除への関心を高めることができました。

今後は、殺ダニ剤の効果が高い生産者の防除方法を分析し、ミカンハダニの薬剤抵抗性回避のための技術マニュアルを作成します。

JA高知県香美地区園芸部洋菜部会が栽培講習会を開催



1月10日、JA高知県香美地区園芸部洋菜部会が栽培講習会を開催し、生産者31名が参加しました。

講習会では、JAから農薬の役割や効果的な使い方について、洋菜部会青壮年部から先進地視察研修の報告を行いました。

農業改良普及課は、講習会の内容や構成、研修報告作成について助言し、講習会の開催を支援しました。

生産者からは「他の生産者の散布時の圧力はどのくらいか」「農薬以外の効果的なアザミウマ防除法はあるか」など多くの質問があり、情報提供を行うとともに、防除対策への関心の高さがうかがえました。

農業改良普及課では、今後も関係機関と連携し、洋菜部会員の栽培技術の向上を図っていきます。

香南市新規就農者のフォローアップを実施



農業改良普及課は、1月21日から24日に香南市の新規就農者19名の経営状況を確認するため、香南市担い手育成総合支援協議会として現地巡回を実施しました。

当日は、事前に提出された報告書をもとにチェックシートを使って状況の聞き取りを行いました。順調に所得を伸ばしている方もいますが、近年の気候変動に対応した管理の困難さや規模拡大のための農地やハウス、労力確保に苦労する声がありました。

農業改良普及課では関係機関と協力して課題解決を支援し、新規就農者の早期の経営安定を図っていきます。